

安全衛生委員会議事録（第9回）

日 時	令和6年12月18日（水） 午後1時30分～午後2時30分	
場 所	シルバー人材センター会議室	
出席者	委員長	信田光隆（事務所長）
	委員	村瀬敏之（産業医） 埴原久美子（派遣会員）、大塚みさ子（派遣会員） 江口正美（派遣会員）、三浦大輝 富田泰弘（衛生管理者）
議事・報告	<p><b>1 あいさつ</b> インフルエンザの感染者が増えているので、体調管理には十分注意していただきたい。</p> <p><b>2 令和6年度派遣会員の健康診断結果について</b> 健康診断書提出者の割合は46%であった。検査項目では、尿、肝機能、脂質代謝は「異常なし」の割合が高かった。しかし、血圧、糖代謝は、「主治医に相談」の割合が高いため注意していただきたい。</p> <p><b>3 帯状疱疹について</b> 帯状疱疹は、免疫力の低下等により体内のウイルスが活動することで発症するが、ワクチンの接種により予防することができる。大府市内在住で50歳以上の方は予防接種費用の助成があるので活用していただきたい。 ・委員各自の発症歴及び予防接種状況を報告していただいた。</p> <p><b>4 道路交通法改正による自転車運転の罰則強化について</b> 令和6年11月から道路交通法が改正され、自転車運転の罰則が強化された。自転車運転中の「ながらスマホ」の罰則強化、「酒気帯び運転」、「酒気帯び運転のほう助」の罰則が新設されたので注意して安全運転を心掛けていただきたい。 ・委員各自の自転車運転状況を報告していただいた。</p>	
決定事項	今回の議事録をウェブサイトに掲載して広く会員に周知して、健康維持管理及び自転車の安全利用についての啓発をする。	
産業医指導	<p>年齢とともに基礎代謝が低下するため、食事では野菜を350g/日を目安として摂取していただきたい。</p> <p>子供の頃に水疱瘡を発症した方は、体内に帯状疱疹ウイルスを持っている。発症した場合は後遺症を残さないために早めに医師の治療を受けていただきたい。ワクチンの効果目安は、ビケン5年、シングリックスは10年である。大府市の助成もあるので、自身に合うワクチン接種を検討していただきたい。</p> <p>自転車の事故は人を傷つける場合があるので、十分注意して運転していただきたい。</p>	